

中学生・高校生が 看護師の仕事を経験

2025/7/30(水)
ふれあい看護体験

今回は、とても暑い中での体験でしたが、体調不良者はなく、無事1日体験していただくことができました。参加者の中には、看護師のほかに、医師や薬剤師、助産師、理学療法士、社会福祉士等へなりたいたいと考えている学生もいらっしゃいました。また、昨年に引き続き、2回目の参加になる中学生や高校生が各1名ずつ含まれていました。

昨年度のアンケート結果を踏まえて、今年度は、看護の仕事を中心に組み立て、患者さんとの関わりを体験できる事に重点を置いて、以下の5コースを企画しました。

- ①感染管理認定看護師による手指衛生と環境整備の体験
- ②クリニカルケア認定看護師による
身体診察シミュレーターを用いた聴診器での呼吸音聴取の体験
- ③認知症看護認定看護師が実施しているアクティビティケアの見学
- ④理学療法士による体位変換の体験
- ⑤看護部長とおしゃべりタイム

病院内では、看護師間だけでなく多職種とのチーム医療が重要であるため、患者さんを中心とした多職種と看護師の連携を紹介しました。

このことは、院内多職種のつながりを意識してもらえらる機会になったと感じています。

一日のまとめとして、学生さんと職員が輪になって、感想などを話し合う場を設けました。そこでは、病院でしかできないことが経験できた、看護師と患者の関わりを実際に見ることができた、患者と看護師との関わりや声掛けをみて、その姿を見て自分も看護師になりたいと思った、といった感想を聞く事が出来ました。また、前回より患者さんと直接かかわりが増えた印象がある(2年連続参加してみても)という我々の改善に対する評価もいただきました。さらに、看護師の仕事にギャップがあった、キツイと聞いていたが大変だけどやりがいと楽しさがあると感じた、看護師が接する事で患者さんも楽しそうで明るくなっていると感じた、との看護師に対する好印象を持った意見が聞かれました。

ふれあい看護体験の目的でもある、「人の心」に触れることのできる感動のある仕事であることを感じてもらえたと思います。

看護師以外の進路選択されている学生さんが含まれているため、今後は、希望者に対して、多職種の見学や体験が出来るよう対応していきたいと考えています。

企画・運営 ふれあいプロジェクト委員会



シミュレーターを使った聴診体験



手術衣を着て手術器具の操作体験



患者様の移動体験



入院中の患者様と一緒に運動



看護部長とおしゃべり